

経済建設常任委員会だより

滝川ふれ愛の里レストラン 運営事業者公募について

株式会社滝川グリーンズが公募していた温泉施設内のレストラン運営事業者が有限会社プラスワンに決定し、11月19日の常任委員会で報告がありました。

同社は、砂川市と滝川市（現在は営業休止）で食堂を経営している会社です。

12月からオープンしています。

常任委員会で、

集客増加に向けて新しい事業者と滝川グリーンズとの協力体制を求める質疑があり、連携を強化し、レストランと温泉とが一体となつてPRをすることで集客増加に向けて努力を進めたいとの答弁がさ



▲ふれ愛の里のレストラン

れました。

メガソーラー設置運営事業 について

新エネルギーとして注目されている大規模太陽光発電所設置運営事業者の公募について、11月19日の常任委員会で説明されました。

平成24年4月に策定された「滝川市総合計画」において世界に誇れる国際田園都市をめざす中、新たな産業の育成に関して、環境・エネルギー分野など、今後の市場拡大や技術革新が望める分野において、新たな事業の芽の掘り起こしに努めることが事業の目的の一つとされています。

また、

平成24年7月1日の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始に合



▲メガソーラー設置予定地

わせ、市有地における大規模太陽光発電所（メガソーラー）の設置運営を行う民間事業者の募集を行い、平成25年度中の発電開始を目標とするものです。

設置予定地は滝の川団地跡地の約3・9ヘクタールで、土地の賃貸借契約期間は20年間となります。

来年度から売電価格の単価が変わる可能性があることから、設置運営を計画している民間事業者は、現在の売電単価を維持できるように早期の取り組みを希望しているということです。

常任委員会では、予定地周辺の住民の方への影響についての質疑があり、発電所はフェンスで囲いがされて外灯がつくので明るくなり防犯上のメリットがあること、また、低周波による影響なども一



▲委員会での視察

切ないとの答弁がされました。
公募により設置運営事業者が決定

メガソーラー設置運営事業者が東京都の伯東株式会社（東証一部上場企業・エレクトロニクス、ケミカル事業）に決定しましたが、設置予定地について、土地貸付料算定基準より低い価格で賃貸するため議会の承認が必要となりました。

減額分は年額約359万円で、貸付料は年額350万円、貸付期間は20年となり、固定資産税収入も見込まれます。

また、事業の実施により、設置予定地周辺の市道を廃止して、必要な部分のみ新規に認定する承認が議会に求められました。

これらの議案は12月11日の常任委員会で説明され、第4回定例会において可決しました。

■委員

委員長 山口 清悦
副委員長 山本 正信
委員 坂井 英明 小野 保之
三上 裕久 窪之内美知代